

平成28年度 看護部教育体制（キャリアアップ支援の全体構想）

リーダーと対象者の目安		到達点	学習の概要
レベル 1	1-① (卒後1年)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 看護職の役割を理解できる。 2. 社会人・職業人として責任ある行動がとれる。 3. 対象者の人権を尊重した態度が取れる。 4. 看護実践を行うための基本的な技術がマニュアルに沿ってできる。 5. 脳神経外科の基本的な知識・技術が理解できる。 6. 主体的に学習する姿勢が身につく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・看護師の基本的責務、看護倫理 ・対人関係(コミュニケーション技術) ・フィジカルアセスメント ・救急看護 ・看護基礎技術 ・脳外科看護(病態の理解と観察) ・脳外科手術(見学研修) ・電子カルテの扱い方 ・PNS看護方式の理解
	1-② (卒後2年)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 基本的看護がパートナーとの連携で安全に実施できる。 (基本的看護が指導の受けながら安全に実施できる) 2. 脳神経外科看護の基本的な知識・技術が実践できる。 3. 指導を受けながら看護過程を展開し看護が実践できる。 4. メンバーとしての役割を理解し、責任ある行動がとれる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・PNSの理解を深める。 ・看護過程を復習し、それに基づいた看護の展開をし、ケーススタディとして事例発表する(年度末に1事例発表する) ・脳外科の急性期看護の習得(最低2事例) ・院内留学(手術室・・・主たるOPの見学) <ul style="list-style-type: none"> ・開頭術(クリッピング・脳腫瘍・水頭症他) ・血管内手術の見学(CAS・コイル塞栓術)
レベル 2 (独り立ち)	(卒後3年)	<ol style="list-style-type: none"> 1. PNSを理解し、パートナーシップに基づいた業務が遂行できる。 (リーダー・メンバーと連携・共同して業務が遂行できる) 2. PNSの補完の4重構造を理解し、自己の責任において、自立して看護実践ができる。 (自己の責任において、自立して看護実践ができる) 3. 2年目(1-②の該当者)の育成 	<ul style="list-style-type: none"> ・PNSの理解を深める。 ・卒後2年目(1-②のレベル)の看護師を1名担当し、指導的立場で1年間関わる。 ・指導者としての関わりについて発表 ・スキルアップ研修の為に自己学習(技術研修等)
レベル 3	(卒後4～5年)	<ol style="list-style-type: none"> 1. リーダーとしての役割を理解し、自部署でリーダーシップがとれる。 2. 看護実践において、ロールモデルとして 後輩育成ができる。 3. PNSにおけるマインドの理解を深め、自部署でパートナーシップを実践し、PNSの成熟に貢献する。 (PNSの基本的な考え方を正しく理解し、自部署での導入の検討に参加できる) 	<ul style="list-style-type: none"> ・リーダーシップやPNSマインドについての理解を深め、実践。 ・「レベル2」の人の新人教育指導のフォローを行う ・何れかの活動に参加する (研究活動、委員会活動、その他役割担当責任者)
レベル 4 (中堅)	(卒後6年以上)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 脳神経外科ナースとして卓越した看護ができる。 2. 組織的な広範囲な活動に参加し役割を担うことができる。 3. PNSに基づいたマインドを身につけ、高いコミュニケーション力を持ち、自部署の人材育成に貢献できる。 (高いコミュニケーション力を持ち、自部署の人材育成に貢献できる。) 	<ul style="list-style-type: none"> ・師長と連携し、部署の看護レベルの向上を目指す ・研究活動、委員会活動のリーダーシップを取る ・常に自身がPNSマインドに基づいて業務が遂行されているかを客観視できるよう努める。 ・自部署のマインドシップを上げるための指導にあたる。 ・チーム医療推進の為に、部署間の調整にあたる

※ ()は療養病棟勤務者の到達点